

文化構想学部 複合文化論系 2018年度 ゼミ論文・卒業研究 題目一覧

言語文化ゼミ(ことばの歴史・ことばの地理) 上野和昭先生

言語から見るSNS

議論と談話における「悪態」の使用実態について

言葉の発生と衰退と社会的背景に関する一考察

俗用の意味変化と使用実態に対する調査と考察

現代における略語の使用実態および略語のアクセントに関する一考察

使用語彙の変化と社会的背景について—高校三年生の作文使用語彙からの一考察—

高校校歌の歌詞からみる言語意識—埼玉県公立高校の校歌を題材に—

宮城県の民謡の特徴と方言との関係性について

若者会話における程度表現についての考察—「普通に」の使用理由とそのレベル—

言葉は時代を映すのか～キャッチコピーを研究する～

大学生の「あいさつ言葉」化する「お疲れさま」の使用実態について—「ご苦労さま」との使用法を比較して—

大学生における「名詞、名詞の短縮形＋」動詞の使用実態について

談話におけるフィラーの使用傾向について

方向を表す格助詞「に」「へ」の使用実態

現代における「かわいい」という日本語をめぐる一考察

言語文化ゼミ(ことばの表記・ことばの発達) 古屋昭弘先生 **※2020年度ゼミ募集停止**

文字改革からみる普通話の現状と未来—今後も文字改革は必要か—

日本語と韓国語の対照研究

現代西安方言に関する研究～発音、単語、文法から見る西安方言～

言語文化ゼミ(ことばの科学・ことばの哲学) 酒井智宏先生

場所アル構文における「ある」の指示するアスペクト

条件文における「だけ」の「最低条件」解釈が制限される背景

—「太郎だけ仲間にすれば作戦は成功する」と「太郎だけ仲間にするなら作戦に成功する」—

日本語複数標識「たち」の性質—「Xたち」の定性をもつかのような振る舞い—

文化人類学ゼミ(〈伝統〉文化とその変動) 小田島理絵先生(西村正雄先生) ※2020年度ゼミ募集停止

現代日本における御朱印人気の要因

20代ベトナム人の「母の味」から考察する、現代家庭料理と「ヌックナム」の関係性—ホーチミン市内・周辺に住む7家族を事例として
高齢者の社会参加と生涯学習との関連—中野区の地域団体を事例として—

日本における宿泊施設の変容と展望

ある公園を中心としたコミュニティにおけるコンパニオン・アニマルの役割について

個人経営の飲食店とつながりについて

定住・交流人口の促進を目指したまちづくり 佐賀県唐津市を事例に

多様性の時代におけるファッションの流行の概念とこれから

長野県小布施町における観光まちづくり

共学校出身者と比較して浮かぶ女子校出身者の恋愛観について

柔道の国際化から考える、日本柔道の保存・継承

日本における韓流の受容とその効果

2.5次元ミュージカルの俳優ファンにおける選択的交流と序列の形成についての考察

神奈川県横浜市戸塚区八坂神社を中心としたおまつりの変容—アイデンティティとの関係を視点として—

訪日外国人の日本に対するイメージから、新しい日本の観光スポットを考える

若者の地域格差是正の課題～就職活動から見る地方の若者の自立についての考察～

帝釈天題経寺及び門前におけるアイデンティティの所在

観光立国としての日本～訪日外国人旅行者年間4000万人に向けて～

「だがしや楽校」は駄菓子屋を受け継ぐのか—駄菓子屋・縁日・だがしや楽校のフィールドワークから—

文化人類学的観点から見るコミュニケーションにおけるお酒の介在価値～若者へのインタビューを通して～

住みやすさという地域価値～米国オレゴン州ポートランドにみる画期的なまちづくり～

「意識高いね」という言葉にみる、日本社会に蔓延る同調圧力について

文化人類学ゼミ(文化ツーリズム論) 寺崎秀一郎先生

ゆるキャラによる地域活性化～「くまモン」と「ぐんまちゃん」のビジネスモデルから見たゆるキャラの今後～

都市観光から考える日本の観光の未来～持続可能な観光とは何か～

女子旅の実態と今後の展望

腐女子の生態について

葛飾区柴又の文化的景観から考えるまち並み景観保全

熱海の復活から考えるこれからのまちづくり

「観光」が地元住民の生活に与える影響と観光資源化による文化の変容と保全

観光を通して見る中国～訪日中国人の現在とこれから～

文化人類学ゼミ(宗教への人類学的アプローチ) 國弘暁子先生

地方の宿泊施設で働く若者たち

選択的中絶と優生思想

「ガールズバンド」へのまなざし

雑誌の占いページからみるその特徴と現代女性との関係

現代における修験道と女人禁制の今後の展望—大峰と秩父を例に—

謝罪の際の絵文字選択について

現代を生きる在日コリアン—在日コリアン三世のエスニック・アイデンティティを問う—

音楽を楽しむ～音楽を享受する人々へのインタビュー調査を通して～

日本の“組織的”応援文化

異文化接触ゼミ(アートと異文化コミュニケーション) 坂上桂子先生

朝鮮時代における動物画～同時代の日本との比較研究～

写真が写し出すジェンダーの問題—長島有里枝を中心に—

高島屋にみる文化催しの可能性

ファッションカタログ〈ルック〉が果たす目的の変化とその背景

山下清の画業における放浪の意味

ファッションビルの広告—パルコ、ラフォーレ、ルミネを中心に

岡崎京子作品における女性の身体について

バンクシーの「Better Out Than In」

ピクサーにおける光と色彩

松本竣介の描く都市と人間—《黒い花》を中心に—

アートプロジェクトによる地域再生～石巻市のこれから～

文化駅ソウル284の建築と役割—京城駅保存の意義—
李禹煥—作品にあらわれる思想—

異文化接触ゼミ(文化変容論) 宮城徳也先生

20代・30代中国朝鮮族のアイデンティティ

『古事記』と『日本書紀』編纂における天皇家の思惑

キュビズムの成り立ちとその影響

アドラー心理学の可能性と子育てへの活用

化粧品療法の効果に関する考察および有効性の検証

海外進出から見る日本のミュージカルの可能性

マチスの切り絵表現における身体性

夕張市の持続可能なコミュニティツーリズムの在り方について
～炭都夕張から観光開発を経て財政破綻した過去を振り返って～

美術館の魅力と戦略

ギリシア・ミノア文明新宮殿時代の中庭建造物

職業としての道化師—その歴史とシェイクスピア作品における役割—

日本茶文化の変遷～不老長寿の霊薬から抹茶スイーツまで～

ディズニーの描くジェンダー—変容と期待—

ムーミンの誕生—トーベ・ヤンソンが描いた自由—

アイドル ヒットの裏側

日本の四季と季節感

日本人の色彩観の変遷について
～過去・現在・未来における色彩の文化的役割と象徴性の比較～

『牧神の午後への前奏曲』についてドビュッシーと象徴主義

顔隠しの文化差—マスク文化の日本と西洋比較—

由布院のまちづくり—歴史と今後の展望—

日本人と祭りの関係性の変遷

異文化接触ゼミ(アジアの思想交流) 土田健次郎先生 ※2020年度ゼミ募集停止

音楽史から見る中国音楽の思想

宗教と共に生きる王国タイ

異文化接触ゼミ(メディア・コミュニケーション論) 砂田薫先生(高橋利枝先生)

Twitterの社会的リンチ型炎上—Twitterはリンチの温床なのか—

女性誌とSNSとWEBメディアの情報の違いとギャップ

—若年層女性は、興味・関心のある情報を得られているのか—

日本版DMOにおけるマネジメント論—海外事例との比較から—

大学生のポピュラー音楽の消費行動—お金を払う大学生と払わない大学生—

「非地位財」を重視した職業選択に関する諸分析—若手社会人を対象に—

若者の食生活の実態と改善に向けて

—日本の食生活・栄養学の歴史、最新の研究結果からの再考—

「書道・手書き文字に対する意識と今後について」—書く文化は将来どうなるのか—

インスタグラムと旅行の関連性～インスタグラムで若者を地方へ誘致できるのか～

日本の若者の決済方法とそれに伴う心理と行動—キャッシュレスの現状と今後を読み解く—

NHKと民間放送の比較と検討から見る情報伝達～スポーツ中継の分析を通して～

若者におけるスマートフォン依存脳の危険性

米国におけるニュースチャンネルと非合法移民の関連性

農業の人手不足と外国人技能実習生—ベトナムとフィリピンを比較して—

美人とブスから人生を哲学する—人間の本质とは何か—

日本における映画館の変遷と未来—シネマコンプレックス時代の観客が求めるものとは—

若者の化粧行動と意識の相互関連性—若者へのインタビューを通して—

高度外国人材活用に向けて—現状課題と支援の形を探る—

ディズニーのサービスから見る相互的満足循環力～若者がディズニーに求めるものとは～

人工知能に対する若者の捉え方

感性文化ゼミ(現代の文化哲学) 小林信之先生

脱味覚的嗜好にみる「おいしさ」

ストロークとユイレの映画—ヴォリュームと呼吸
タブーによって交錯する人間の食と性
契約と恋
少年時代におけるスポーツの必要性について
ギャンブルと運～人生はギャンブルか～

感性文化ゼミ(日本の美意識) 陣野英則先生

邦楽と「かわいい」の関係性、その未来
オノマトペから見る言語と文化の関係性
竹久夢二の描く女性像
多様化する化粧と日本人の「美」
「アイドル」について
漫画・アニメがとらえる日本の家族形態
日本人は何故、悪役に惹かれるのか—現代での扱われ方から考察する—
ラブソングにみる日本人の恋愛観
人がつながる現代、未来について
日本における「仮面」
あえて不便さを選び取る人々～便利化が進む世の中において～
日本人の昆虫観—日常性からみる昆虫観の現在とこれから—
日本人と制服ファッション
現代日本における異類婚姻譚の受容

感性文化ゼミ(集合的アイデンティの諸相) 山田真茂留先生

集団に属するということ—共同社会のゆくえ—
日本の労働に関する諸問題と働き方の未来
観光による地域社会の再構築—創られた伝統を巡って—
日本におけるこれからの観光旅行—航空産業・宿泊産業の変化、IT化の観点から
自由な社会と不自由な個人
社会意識の変化とリーダーシップの諸相

学校教育とジェンダー

人口減少時代における地方都市の可能性

接客におけるコミュニケーション

仮面と人間

現代の食生活と食文化

社会的養護下の子どもたち—愛着とパーマネンシー・ケアの観点から

「非日常」空間におけるホスピタリティと観光の在り方

感性文化ゼミ(現代文明への視座) 高橋透先生

はっぴいえんどの音楽的特徴と日本のロックの文化的真正性についての考察

ゲームの過去と未来～今後の予測と為すべきこと～

社会を動かす文章の力—三要素から見る文章分析—

現代サブカルチャー社会学～失われた20年を超えて～

複製技術時代の音楽と人々

NHKの「連続テレビ小説」が日本に与える影響と人気の理由

スマートフォン向けアプリゲームのマーケティング

消費者行動への心理学的アプローチ—小売店のレイアウトを考える—

「なぜ日本人はKPOPアイドルに魅了されるのか」

—KPOPアイドルから見る韓国企業のグローバル戦略—

ムスリムと日本人～日本のグローバル化の未来～

サカナクションというメディア

女性アイドルのサヨナラの意味

日本社会のジェンダー観との相関から考える女性アイドルの卒業と未来

<拡張現実のつながり>—来るべき時代のための、私たちのつながり—

テレビ番組の視聴率低下とライフスタイルの変化

色の効果とイメージ

卒業研究

日本のペアダンス受容と東京ブラジリアンダンスコミュニティにおける考察

としかへばやとく月>

人間とテクノロジーの関係性